

いのち 生命の炎

●発行所：東京ふれあい医療生活協同組合
〒114-0004 東京都北区堀船 3-31-15
電話 (03) 3911-3630

●編集人：「生命の炎」編集委員会

生協の現況(2015年11月末日現在)

組合員数=16,144名 出資金総額=558,322千円

<http://www.fureaico-op.com>



東京ふれあい医療生協 2015年 2016年
合併号 No.443

40年余の歴史を踏まえ新たな飛躍へ 発展続ける力量を参加者一同で確認

2015 生協強化月間締めくくるパワーアップミーティング



2015年生協強化月間行事のまとめの集会・パワーアップミーティング、「もつと知るうよ! 私たちの事業所」が11月28日、荒川区立尾久西小学校で開催されました。ここでは梶原診療所訪問診療・介護相談センター・くらし相談室など11の事業所や部署から報告がありました。「健康や暮らしを守り、健やかな老後を」との地域組合員の要望を受け、日々事業活動を展開している各事業所職員の姿がそこにありました。すでに組合員は16000名、出資金も5億6000万円、11支部を擁し、10事業所と職員数200名を超えるまでに発展した当生協の力量を、参加者全体が一つになって確認しあいました。なお、この集会には組合員76名、職員39名、合わせて115名が参加。今年度の生協強化月間も12月6日の上中里支部の「仲間・出資金増やし集中拡大行

動」でその幕を閉じましたが、取り組みの成果や今後に残された課題など月間全体の振り返りをしっかりと行い、来年度に繋げることが求められています。

生協全体の状況を報告

パワーアップミーティングは、遠藤弘子理事の総合司会で進められました。冒頭、あいさつに立った土屋理事長は「当生協も45周年を迎えている。40周年時の『ふれあい未来会議』でまとめられた組合員・職員の要望を受け、飛躍的に事業規模・職員数を拡大してきた。今の私たちの力量を見つめ、この集いを機に当生協のさらなる発展を展望しよう」と訴えました。

その後、寺田・三原両理事の座長で前半の5事業所からの報告を受けました。



質問する宇部支部長

梶原診療所訪問診療(報告者・氷室在宅看護師長、介護相談センター(同・飯田センター長)、くらし相談室(同・小山ソーシャルワーカー)、健診センター(同・村島事務職員)、梶原診療所病棟(同・百瀬医事課職員)から報告がありました。若干の休憩を挟んで後半は土屋理事長と宇都木支部長(西尾久7・8丁目支部)が座長を担当。ほほえみヘルパーステーション(同・町



池田常務理事



小山ソーシャルワーカー

合わせて11の報告を受けた後、生協の理念策定プロジェクトチームを代表し山根職員(梶原診療所医事課)から、理念策定の現状と今後の取り組みを紹介し、西本医師(梶原診療所長)の集いのまとめに移行。西本医師は「それぞれ大変有意義な報告だった。事業所と職員を組合員の皆さんが今後も育てて行って欲しい。厳しい情勢だが、組合員と職員が一つになり頑張ろう」と締めくくりました。午後2時から開会された集会も終了したのは5時近く。すでに辺りは日没を迎え、会場は夕闇の中になりました。

地域要求に込める事業活動めざす



理事長 土屋 悟史

組合員の皆さん、明けましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は当生協にとって「みらい5カ年計画」の3年目・折り返しの年でした。計画の初年度では梶原診療所建設・有床化。2年目では旧梶原診療所の2階部分を在宅総合ケアセンター、1階部分をふれあいセンターと第4診療所としてオレンジほっとクリニックに改修しました。組合員・患者さまの期待に応えることができ、昨年6月頃より各事業所とも軌道に乗り始めました。また、オレンジほっとクリニックは北区内で唯一、地域連携型認知症疾患医療センターの指定を9月に受け、認知症の方々の専門的な支援を行うことができるようになりました。改めてこの紙面を借りて皆様にお礼申し上げます。

設立45年を迎え、改めて生協組織基盤の強化が大きな課題です。超高齢化社会の進行、多死社会・人口減社会と正面から向き合い、社会資源としての医療福祉生協は地域要求に応える事業活動を展開するとともに、ここに結果集し利用していただく組合員を増やしていくことが求められています。計画の最終2017年度末に1万6千人の組合員、6億円の出資金を目標としています。医療福祉生協のネットワークを地域に広げ、明るいまちづくりのために力を貸してください。よろしくお祈り致します。

民主主義の基本はすべての決定が市民にいちばん近いところでなされるべきです。昨年の安保法制の強行採決は憲法違反の疑いとともに民主主義の危機です。人々の声に耳を傾け、救いを必要としている人のために手を差し伸べるこそが成熟社会、これからの地域社会を作るうえで大切です。今年も一年よろしくお祈りします。



2016年新春の集い 開催予定一覧

支部・組織名	開催日時	会場	会費
西尾久1・2・3丁目支部	1月27日(水) 12時30分	尾久ふれあい館	1,000円
西尾久4・5・6丁目支部	1月20日(水) 11時30分	尾久ふれあい館	1,000円
東尾久支部	2月3日(水) 12時30分	シルバー人材センター	500円
小台宮城支部	1月16日(土) 又は 23日(土)	江南区民事務所	500円
西尾久7・8丁目支部	1月23日(土) 12時	ふれあいセンター	500円
上中里支部	1月30日(土) 12時	ふれあいセンター	1,000円
堀船1丁目支部	1月23日(土) 12時	梶原1丁目町会会館	500円
堀船2丁目支部	1月15日(木) 18時	ふれあいセンター	500円
梶原(堀船3丁目)支部	1月23日(土) 18時	堀船3丁目町会会館	500円
堀船4丁目支部	1月23日(土) 12時	堀船4丁目団地集会所	500円
栄町支部	1月22日(金) 12時30分	ふれあいセンター	500円
西ヶ原・滝野川準備支部	2月6日(土) 12時30分	滝野川東ふれあい館	500円
堀船集合住宅地区	2月6日(土) ※未定	ふれあいセンター	未定

【参加会費の取扱い】※1 関係の方には後日ご連絡します。

- ①理事・監事については自己負担とします。
②組織担当を含む職員は業務による参加とします。会費については後日法人より支部に補填します。
この場合、飲酒はできません。

年末年始の診療体制のご案内

●梶原診療所 ☎03-3911-5171

年 内：12月29日(火) 午前診療まで
年 始：1月4日(月) 午前9時30分から

●宮の前診療所 ☎03-3800-7111

年 内：12月29日(火) 午前診療まで
年 始：1月4日(月) 午前10時から

●ふれあいファミリークリニック ☎03-6908-4330

年 内：12月29日(火) 午前診療まで
年 始：1月4日(月) 午前10時から

●北区休日診療●

場 所：北区医師会館2階
(北区王子2-16-11)

☎5390-3011

診療日：12月29日(火)～1月3日(日)

受付時間：午前10時～午後9時30分

●荒川区休日診療●

荒川区報をご覧ください。

●足立区休日診療●

場 所：江北休日応急診療所
(足立区西新井本町2-30-40)

☎3896-4010

診療日：12月29日(火)～1月3日(日)

受付時間：午前10時～4時(正午から午後1時除く)

■テレホンサービス【24時間電話相談】

東京都医療機関案内サービスひまわり ☎5272-0303

東京都消防庁テレホンサービス ☎3212-2323

北区生協連フェア!!

日 時：1月26日(火) 10時～2時

会 場：赤羽会館4階小ホール(参加費無料)

「機能性表示食品についてのお話」等、北区で活動している5生協の取り組みです。
(構成：コープみらい、東都生協、パルスシステム東京、東京ほくと医療生協、東京ふれあい医療生協)

健康づくり委員会掲示板

<地域共通>

●味噌づくり

材料費：手作り味噌 5kg2500円：・仕込み済み 5kg2500円
容 器(重しなし) 1200円

※梶原地区・宮の前地区合同開催となります

日 時：2月5日(金) 午後2時～4時

場 所：ふれあいセンター

※申し込み締め切り

各診療圏ともに1月16日(土)まで

梶 原：☎3911-3630(鈴木・一石)

宮の前：☎3800-7201(木村)

●保健講座のお知らせ

先生方と楽しく学びましょう。

受講生募集中！詳細は決まり次第お知らせします。

※問い合わせは下記まで

梶原診療圏：☎3911-3630(一石・鈴木)

宮の前診療圏：☎3800-7201(木村)

<宮の前地域>

■ふれあい粋、活き(いきいき)サロン

「あつふる館」健康チェック

日 時：1月14日(木) 午後1時30分から2時30分

場 所：小台あつふる館

■西尾久東長寿会 健康チェック

※1月はお休みです。

日 時：2月18日(木) 1時から

場 所：西尾久東町会会館

長寿会・さくらサロン
1月はお休み

■ふれあい粋、活き(いきいき)サロン

さくらサロン宮の前

※1月はお休みです。

日 時：2月17日(水) 2時から3時

場 所：宮の前診療所2階 さくらの部屋

初詣企画



■初参り(梶原健康づくり委員会)

日 時：1月19日(火) 9時30分
ふれあいセンター前集合

行 先：高幡不動

■歩こう会(みやまえウォークス)

『1月』

日 時：1月10日(日) 9時

田端駅集合

行 先：谷中七福神めぐり

終了後：新年会

荒川生協連絡会主催『コープカフェ』

日 時：1月21日(木) 1時30分から3時

場 所：食品組合事務所(宮の前診療所並び駐車場隣)

参加費：¥100

※地域の方とみんなが「気楽に」「無理なく」「楽しく」集う場です。

お一人でもお友達とでも是非参加ください。

宮の前
反版

理事会から

2015年度第5回理事会

開催日10月1日

(報告事項)

①9月加入43名増資1,469千円

②9月診療所外来

・在宅数昨年比10.5%訪問系延数

96%③8月決算・経常剰余265万

円の黒字④第3回健康まつり実行委

員会⑤オレンジほっとクリニック医

師会加入⑥梶原診療所スプリング

ラー設置補助内定⑦現状業務機構図

(協議事項)

①8年度の経営状況について②ふれ

あい医療生協「理念プロジェクト」素案

③パワーアップミーティング実施案④

健康まつり予算⑤健康カレンダー購

入予算⑥定款抜粋文書配布について

⑦年末運転資金の借り入れについて

⑧16年度きり健康生協「デンマー

ク研修視察団」への派遣について

使用済み切手回収運動へのご協力ありがとうございました。

回収した使用済み切手は次の通り各区の社会福祉協議会にお届けしました。

10月14日=北区(1.2kg)・10月16日=荒川区(1.2kg)・11月5日=北区(1.2kg)





組合員・職員の道しるべ(理念)をつくり新たな発展の糸口を 2020年わが生協への期待と課題、パワー全開の職員代表大いに語る

1970年に誕生した東京ふれあい医療生協もあと4年で50歳を迎えます。組合員300人、300万の出資金、1事業所で出発しましたが、今では16000人の組合員、5億円を超える出資金、事業所も10カ所を数えるまでに発展を続けています。40有余年の当生協の歩みには、数多くの組合員さんの努力があり、入職し退職されていった無数の職員の汗と涙があるはず。あと数年に迫る2020年。創立50年を迎えるわが生協への期待と具体化すべき課題を、理念策定プロジェクトチームを中心とした若い職員の皆さんに語って頂きました＝文責・編集部(収録は2015年11月15日、生協ビル内で)



■司会・渡辺章医師



■小暮和歌子看護師



■目々澤宏治組織担当職員



■大山薫看護師

「地域医療極めるなら医療生協と」
＝渡辺 章 医師
当生協入職の動機や以前の職場との違い

■司会・渡辺章医師

今日は若い職員の皆さんから「2020年の当生協に対する期待」をテーマに、率直に語り合って頂きたいと思います。多くの組合員さんから職員の努力で当生協も大きく発展しています。皆さんの率直なご意見を出して頂き、大きなテーマに少しでも近づく議論にしたいと思います。まず、当生協入職の動機、以前の職場との違いなどについてもお話し下さい。まず、小暮さんからお願いします。

産休明けで日勤職場を志望

■小暮和歌子看護師

10数年前、新聞折り込みで看護師を募集していたのを知り応募しました。出産直後で夜勤ができないため、日勤職場を希望していたので一旦はお断りしました。でも、運良く訪問看護ステーション立ち上げの時期で、そこで能力が生かせればと思い入職しました。以前の職場ではパートで外来を主に担当していました。

労組と生協は兄弟同士だから

■目々澤宏治組織担当職員

大学を出て就職したのが荒川区内の建築関係企業でした。新入社員を100人位採用しても、夏には全員辞めてしまうような職場でした。原因は社長のパワハラやセクハラで、それに対抗するため労働組合を結成し、4年間闘っていました。その闘いが終わって、さてこの後どうしようかと、将来のことで悩んでいた時期に、土屋理事長から「うちに来ないか」と声をかけられたのがきっかけです。それまでは医療生協の存在も知りませんでした。入職した第一印象は、生協の職員は「なんて素直で、純粋なの」ということでした。

郷里に似た下町情緒に惹かれ

■大山薫看護師

平塚の病院で病棟勤務をしていました。結婚を機に夫が転職し東京に来ることになりました。私は愛知県の田舎育ちで、下町の感じが田舎に似ていましたので荒川区小台に居を構えました。自宅からも近く待遇面も良かったので宮の前に入職しました。生協だからという意識はありませんでした。以前の病院では手術前後の管理が主で、人と向き合うと言うより傷の状態などに意識が行きがちでした。でも今は「患者さんには生活や仕事などの歴史があり今の病気がある」という思いに至りました。外来・在宅両方を担当していますが、看護師として、一人の患者さんを一貫して見ることができるのが強みだと思います。

■渡辺＝私の場合は整形外科も地域医療・総合医療もやりたいという希望を持っていました。最初に整形外科(手術)の研修を受け、その後に地域医療に出てきました。当時も医療生協は地域医療の中で医師を育てていましたので、地域医療に進むとしたら医療生協だと思っていました。大学の実習で梶原と宮の前に来て、下町の中で人と人とが近い距離で医療活動を展開していることに心を動かされ、ここに落ち着いたわけです。救急病院での経験しかありませんが、時間の流れが異なるということ、病気のことだけではなく、ご家族のことや地域社会とのつながりなどの背景を考えながら、患者さんと接しているのは良いなと思っています。

「時代や社会、将来に対する不安が…」
＝大山 薫 看護師
生活・子育て・働き続ける上での悩み

■渡辺＝生活や子育て、働き続ける上での悩みという点ではどうでしょうか？

■小暮＝若い時には給与面に目が向きがちでした。特

に女性は結婚・出産・子育てという問題に直面します。今は子育てしながら働ける環境や待遇が必要と思っています。年休以外に看護休暇があることに驚きました。有り難いと思っています。産休明けもスムーズに職場復帰できたし、おすすめの職場だと思います。

■目々澤＝生協に働き始めた時は、すでに子供がある程度大きくなっていましたから、余り不都合は感じませんでした。若い人たちも含め経済的な問題から結婚もできない、子供も持てないという社会的な状況がありますが、その点からみると共働き夫婦にも働きやすい環境ではないかと思いますが…。

■大山＝職場の雰囲気や職員同士の関係も良く、医療職も他の職種の人にも優しい職場だと思っています。まだ子供はいませんが、漠然とした不安は感じています。将来に対する蓄え、子供の教育費、親の介護のことなど…、私たちの世代は年金がもらえるかなど、時代や社会に対する不安ですね。

■渡辺＝お互い、この時代に生き働いていることに根ざした不安ですね。

「高齢者の課題軸に事業展開を」
＝目々澤宏治組織担当職員
医療福祉生協としての発展可能性は

■渡辺＝「こういうことをやりたい」と思えば様々なことができるのが、医療福祉生協ではないかなと私は思っています。また、そのことを支えるサポーターとしての組合員さんの存在も大きいと思います。当生協としての発展可能性についてはいかがですか？

■小暮＝当初は組合員さんとの直接的な関わりはあまりありませんでした。最近では、地域全体を見渡することができる看護師としての強みを感じています。組合員さんとのふれあいの中で地域の様々な課題が見えてきました。



■小暮＝訪問看護の対象となる前の段階で、組合員さんや地域の方の健康を高める取り組みが必要と思っています。訪問看護師としての本来業務ではありませんが、病气や生活改善の話もできますので、班会などに呼んで頂くなど、私たちをもっと利用して欲しいと思っています。

「地域の方も利用できる保育施設は必要」
＝小暮和歌子看護師
5年後の当生協に対する期待と各自の抱負

■渡辺＝2020年に当生協は創立50周年を迎えます。団塊の世代が75歳を迎える「2025年問題」が控えています。最後になりますが、皆さんが描いている当生協への期待やご自身の抱負についてお話し下さい。

■大山＝介護の問題がさらに深刻化するのはいきりしています。今でもアップアップですが、頑張らなくてはと思っています。

■小暮＝訪問看護ステーションも出発当初は商店街の中にありました。1階だったので、組合員さんも気軽に立ち寄り相談などに応じていました。できればステーションも地域に出て行った方がよいのではと思っています。また、高齢者の住まいの問題も早急に形にしていきたいと思います。単身高齢者や、年金もなく介護保険も利用できない高齢者が沢山いらっしゃるし…。

■渡辺＝住まいの問題は大きいですね。高齢者が住み慣れた地域で支え合って暮らしていくためにも、生協として取り組むべき課題だと思います。

■目々澤＝都市部では、スペース、土地の問題があります。空き家や空き店舗を活用する仕組みを行政と一緒に考えていくことが必要だと思っています。低額な家賃、もしくは無償で利用させてもらい、住まいや地域の人たちが集える拠点を、この地域につくっていくことが必要だと思います。

■小暮＝職員の側からの要望としては保育の問題があります。産休明けや病後児、年末の保育に加え、看護師としての研修も多く、当生協にも託児所など保育施

設があればと思っています。看護師に限らず女性が多い職場ですので、様々な条件を抱えていても、特に若い人たちにとって働きやすくなる上でも、ぜひとも実現してほしいですね。訪問看護ステーションは高齢化が進んでいるので…(笑)。

■大山＝職員に限らず組合員さん、特に地域の若いお母さん達もそこを利用できれば、生協の新しい担い手として、その人達を迎え入れることができますね。

■目々澤＝職員の定着率の向上にもつながるし、当生協の事業所を利用する組合員さんの利益にもつながるのでは…。

■渡辺＝地域に活用できるスペースはあると思います。女性が多い職場なので保育施設は必要ですね。今でも子育て教室では、組合員さんが保育ボランティアとして関わって頂いているし、保育施設具体化の素地はあると思いますが…。

■小暮＝先ほど、理念づくりの話が出ましたが、ステーションでも生協全体でも職員が増えていきます。管理する立場になって感じているのは、生協全体もそうですし、その中での看護職としての指針があれば、職員みんなが同じ方向に向かっていけるのではと思いますけれど…。

■渡辺＝現在、2016年の総代会で決定して頂きますが、当生協の綱領を発展させる形で理念づくりを進めています。互いにこの生協に関わり支えあいながらも、利用する・働くという面では違いはありますが、組合員さんと職員が一つになって進むための「道しるべ」になると思います。誰から見ても分かりやすく簡潔なもの、出来れば小さなカードにして、持ち歩けるものにしたいと思っています。また、この「理念」は策定後も絶えず検証して、新しい課題にも対応できるものにしたいとも考えています。本日、意見や要望として出された様々な課題も、「理念」に織り込まれるものばかりです。創立50周年を迎える2020年まであとという間です。それぞれの部署で、16000名の組合員さんの期待に応えられるよう、互いにかんばりましょう。ありがとうございました。

